

- 二、痘瘡豫防ノ爲縣下全般ニ亙リ臨時種痘ヲ施行接種區域人口三十六萬三千四百九十五名被接種人員一萬二千九百十五名
- 三、傳染病豫防ノ爲徳島市内ニ於ケル特殊營業者及板野郡松茂村住民ニ對スル傳染病原體ノ檢査施行被檢査人員四千三百七十一名内保菌者五名發見
- 四、傳染病豫防ノ爲縣下一齊ニ傳染病患者早期發見並蠅族ノ驅除施行被調查人員九十萬三千六百四十六名ニシテ赤痢七名、腸チフス三十六名、バラチフス十八名、デフテリア一名發見驅除セル蠅ノ數ハ一億以上ニ達スル見込
- 五、御大禮地方賜饌品納入者五十六名ニ對スル健康診斷施行
- 六、癩豫防ノ爲縣下ニ浮浪徘徊セル癩患者及自宅療養ヲナシツ、アル患者ノ一齊取締施行患者數男百二十七名女四十九名發見大島療養所へ送致シタルモノ男四名女三名
- 七、結核豫防ノ爲多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル唾壺ノ一齊取締施行唾壺配置箇所九千二百九十二ヶ所内變更ヲ命シタルモノ二百六十九ヶ所ヲ命シタルモノ三百五十五ヶ所
- 八、「トラホーム」豫防ノ爲客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル貸手拭及流出裝置手洗器ノ現狀調査、調査場所數三千七百六十九ヶ所ニシテ貸手拭又ハ共用手拭ヲ備ヘタルモノ二百八十二ヶ所内清潔ナルモノヲ使用スルモノ二百四十五、流出裝置手洗器ヲ備ヘタル數二千八百五
- 九、花柳病豫防ノ爲内務省製作映畫「花柳病」ヲ購入シ縣下ニ於テ活動寫眞講演會開催、開催回数二十四、觀覽者數一萬九千九百三十名
- 一〇、飲食物取締ノ爲縣下各郡市ニ亙リ牛乳清涼飲水其ノ他ノ飲食物ノ檢査施行、牛乳檢査數百六十件ニシテ内不良ノモノ三十三、清涼飲水檢査千八十七件ニシテ内不良ノモノ一件發見其ノ他飲水、清潔保持、塵芥尿尿處分、飲食物取締等一般衛生ニ關シ夫々施設取締リヲナセリ
- 一一、經費 特ニ豫算ヲ計上セス

(39) 香 川 縣

(一) 御大禮ニ際シ衛生施設

- 一、客年三月二十八日付内務省發衛第二十八號ニ基キ各警察署長、市町村長ニ通牒シ之カ實行ヲナサシメタルノミナラス更ニ警察署長會議市町村長會議ヲ開キ一層督勵セリ
- 一、衛生講話及活動寫眞
 - 縣下各警察署、市町村其他公共團體等協力シ衛生講話ヲナサシメタルノミナラス部員ヲ派シ百十六ヶ所ニ於テ衛生活動寫眞會ヲ開催シ衛生思想ノ普及ニ努メタリ
 - 一、宣傳ポスター掲出
 - 衛生ポスター一萬三千枚ヲ作り縣下一般ニ配布シ衛生思想ヲ普及ス
 - 一、保菌者調査
 - 腸チフス舊患者ノ健康狀態ヲ調査スルト共ニ其ノ尿尿ノ細菌檢査ヲ行ヒ保菌者ノ發見ニ努ム
 - 一、檢病の戸口調査ノ勵行
 - 縣下各警察署ニ命シ檢病的戸口調査ノ勵行ヲナサシメ患者ノ早期發見ニ努ム
 - 一、縣都市醫師會ニ警告
 - 縣都市醫師會ニ對シ傳染病患者ノ早期診斷ト届出方ニ關シ警告シ一面警察署トノ連絡ヲ密ニナサシメタリ
 - 一、癩患者ノ收容
 - 大島療養所ノ工事擴張ニ伴ヒ患者ノ收容力増大シタルヲ以テ浮浪徘徊セル患者ノ收容ニ努メタルハ勿論其他私宅療養患者ニ對シテハ一段ノ取締ヲ勵行セリ

一、花柳病、結核、トラホーム豫防

結核ハ四月二十七日花柳病ハ九月一日新法實施日トラホームハ十月十日ノ記念日ヲ利用シ御大禮ニ鑑ミ特ニ豫防宣傳ニ努メタルハ勿論平素ニアリテモ之カ取締ヲ勵行セリ

一、其他簡易水道、井泉ノ改良上水道使用ノ督勵汚水溝渠ノ浚渫便所ノ改良定期清潔法ノ嚴行、飲食物營業者、牛乳、清涼飲料水、酒類其他宿屋、料理屋、理髮營業者等ノ接客營業者ノ一齊取締ヲ行ヒ遺漏ナキヲ期セリ

(二)御大禮期間中ノ衛生施設

一、地方賜饌ニ伴フ衛生施設

衛生係ヲ置キ地方饗儀場ノ衛生取締并御料理品調製者ノ身體檢查及糞便檢查御料理品檢查ヲナサシメ別ニ救護班ヲ設ケ遺憾ナキヲ期セリ

一、一般ノ取締

飲食物營業者、清涼飲料水營業者、酒類營業者等ニ對シテハ常ニ警察官之カ取締ヲ爲シ道路其他公衆ノ集合スヘキ場所ニハ撒水ヲ勵行シ衛生上遺憾ナキヲ期セリ

一、精神病者ノ救護

公私設置精神病者ノ救護ニ關シテハ特ニ精密ナル取締ヲナシタルノミナラス浮浪徘徊セル精神病者ハ悉ク監置又ハ監護義務者ニ引渡シ監護ヲ嚴ニナシ以テ之カ救護上遺憾ナキヲ期セリ

一、宣傳ポスター

四百十圓

一、糞便檢查

十圓

一、救護班

十圓

一、其他豫算トシテ計上スヘキモノナシ

(40) 愛媛縣

昭和三年六月警察署長並市町村長ニ對シ通牒ヲ發シ特ニ監察員ヲ派遣シ實地調査ノ下ニ左ノ事項ヲ實行セリ

一、腸チフス患者及同病原體保有者アリタル家ノ家族又ハ看護ニ從事シタル者其ノ他各種ノ關係アル者ニ對シ豫防注射或ハ檢便ヲ勵行シタリ

右檢便ノ結果發見セシ病原體保有者二十名、豫防注射ヲ實行セシ人員二千三百二十五名

二、浮浪癩患者ノ取締ヲ嚴行シ之等ノ患者ハ勿論一般私宅療養者ニ就テハ本人若クハ關係者ニ注意ヲ加ヘ御大典關係地方ハ趣カシメサルコト、シタリ右取締ヲ加ヘタル總數百七十六人、療養所ヘ送致セシ浮浪者一人、扶養義務者ニ引渡シタル者四人歸郷セシメタル者二十九人其ノ他相當ノ資産ヲ有シ私宅療養ヲ爲ス者ニ就テハ諭示ヲ加ヘ外出ヲ差止タリ

三、御警衛其ノ他公務ノ爲又ハ御大典關係地方ヘ趣ク官公吏ニ對シ腸チフスノ豫防注射ヲ行ヒタル者三回ニシテ其ノ數七十二名同檢便ヲ行ヒタル者三回ニシテ七十二名

四、臨時清潔法ヲ實施セシメタルモノ

戶數三萬五千七百九、再調ヲ命シタルモノ二百十戶此ノ日數二百四十八日

五、大禮第一日ノ儀御用品納入者ニ關聯セシ本縣ヨリノ調賣入者五名ニ對シコレヲ豫防注射ヲ實行シ彼等ノ住所地ニ於ケル周圍ノ病況ニ鑑ミ腸チフス豫防注射ヲ行ヒ糞便檢查或ハ健康診斷ヲ行ヒ其ノ他器具衣類等ニ就テハ總テ相當ノ藥品消毒ヲ嚴行シタリ

(41) 高知縣

該當事項ナシ

(42) 大分縣

昭和三年三月二十八日附内務省發衛第二八號御大禮衛生施設事項ニ關スル御通牒ノ次第モアリ縣下衛生ニ關スル諸般ノ施設ニ就キ最善ヲ竭シ萬遺漏ナキヲ期シタリ其ノ主ナル施設左ノ如シ

第一 飲料水ニ關スル件

飲料水ニ關シテハ縣下大分、別府、中津ノ各市町設置上水道ノ水質検査ヲ特ニ勵行シ其ノ他消化器傳染病ノ發生シタル部落並ニ其附近ニ對シテハ「クロール」消毒ヲ勵行スルト共ニ縣下一般ニ對シテハ井戸及下水溜ノ浚渫修理ノ督勵ニ努メタリ

第二 飲食物等ノ取締ニ關スル件

一、屠場並ニ牛乳山羊乳取締ニ關スル件

昭和三年三月二十四日乳肉取締ニ從事スル衛生技術員ヲ召集シ内務省衛生局ヨリ主任技術官ノ派遣ヲ得、長官ヨリ訓示並指示ヲナシ以テ設備ノ改善並清潔保持ニ就キ特ニ注意ヲ促シ營業場ノ臨檢、乳質ノ検査度數ヲ増加セシメ亦一面ニ於テハ設備改善ノ一方策トシテ屠場主並營業者ヲ懲誦誘導シテ記念事業ヲ爲サシメタルニ別府外十四ヶ所ノ屠場ニテハ改築其ノ他設備ノ改善等ヲナシ、牛乳營業者五十八名ハ消毒器及冷却器ノ購入、牛舎ノ増築、種牡牛購入等百二件ノ事業ヲ行ヒ、山羊乳營業者十六名モ亦種山羊購入、衛生搾乳罐備付等二十三件ノ事業ヲ行ヘリ

二、飲食物ノ製造業者、販賣業者ヲ管下主要地ニ召集シ從事者ノ健康ト清潔、飲食物原料ノ新鮮ト清潔、製造場ノ防塵、防蠅等ニツキ技術員又ハ警察官吏ヲシテ講演セシメ又ハ實地ニ臨檢シ注意又ハ検査ヲナサシメタリ

三、食品市場ニハ技術員又ハ警察官吏ヲ臨檢セシメ前號各項ト同一事項ヲナス

四、飲食物關係従業者ハ必要ト認メタルモノハ健康診斷ヲ行ヘリ

五、飲食物及ヒ飲食物用器具ニ關シテハ必要ト認メタルモノハ防腐劑、着色料、人工甘味質等ノ關係法令ニ依リ收去試験ヲ行フ

第三 花柳病豫防ニ關スル件

花柳病豫防ニ關シテハ縣下各警察署主催ノ下ニ縣ヨリ擔任技師ヲ出張セシメ管内接客業者其ノ他ノ關係者ヲ集メ法規上ノ取締並ニ花柳病ノ大意及之カ豫防上ニ就キ一般ノ自覺ニ努メ一面ニハ各組合ニ於ケル自衛的健康診斷ノ一層嚴重ナル勵行ヲ促シ以

テ本病ノ豫防上遺憾ナキニ努メタリ

第四 精神病患者ニ關スル件

本縣下ニ於ケル現在精神病患者ハ四百六十六名内百六十六名ハ女ニシテ之カ監護並ニ取締ニ就キ特ニ各警察署長ニ注意シ臨檢視察度數ヲ増加シ以テ事故ヲ未然ニ防止セムコトニ努メタリシカ幸ニシテ何等ノ事故發生セズ平靜無事ナルヲ得タリ

第五 防疫ニ關スル件

(イ) 一般防疫ニ關シテハ縣衛生課主催ノ下ニ九月十日ヨリ翌十月二十日ニ至ル此期間中ニ於テ事務ノ繁閑ヲ圖リ縣下各警察署ニ各擔任技師、防疫醫及警部ヲ出張セシメ防疫上ニ關シ適切ナル講習會ヲ開催シ以テ防疫上特ニ遺憾ナキヲ期シタリ而シテ講習會開催數ハ十九回ニシテ聽講者ハ警察官町村吏員、醫師、藥劑師、學校工場各職員及諸組合員等ニシテ總數千六百四十二名ニ達シ相當ノ成績ヲ收メタリ

(ロ) 赤痢「チフス」其ノ他ニ關シテハ早期診定方法及檢病的戸口調査ヲ特ニ勵行シ以テ早期發見ニ努メ一面ニハ隔離病舎ノ設置ヲ督勵スルト同時ニ之カ豫防思想ノ喚起並ニ豫防注射(縣ヨリ無償交付セル數ニ萬三千人)ノ勵行ヲ督勵シ以テ之等流行病ノ撲滅ヲ期シタリ

(ハ) 痘瘡豫防ニ關シテハ本病ハ縣下ニ於テ昨年末ヨリ今春ニ亘リ多數發生流行シタルヲ以テ之カ豫防上一般ノ注意ヲ拂ヒ各市町村ヲシテ臨時種痘ノ勵行ニ努メ同時ニ便宜上縣ヨリ痘苗ヲ約十四萬一千二百人分ヲ交付シ以テ臨時種痘ノ徹底ヲ期シ一面ニハ不絶本病ノ豫防警戒ニ努メ以テ遺憾ナキヲ期シタリ

(ニ) コレラ豫防ニ關シテハ支那上海ニ「コレラ」病發生ノ通報ニ接シタルヲ以テ本縣ニ於テハ佐賀關久原製鍊所々用鐵石輸入關係上往々上海ヲ經由スルコトアルヲ以テ速時ニ之カ調査ヲ遂ケ以テ之カ適當ナル豫防施設ヲ講シ且ツ縣下一般ニ對シ防疫上遺憾ナキヲ期シタリ次テ大阪ニ「コレラ」病發生ノ通報アリタル直後縣ヨリ防疫醫ヲ派遣シ之カ詳細ナル調査ヲ遂ケ本縣ニ於ケル之カ警戒豫防上ノ各項目ニ亘リ其ノ根底ヲ立テ以テ豫防施設ヲ實施スルト同時ニ縣下各警察署長並ニ町村其ノ他ニ通牒督勵シ以テ之カ豫防上遺憾ナキヲ期シ尙大阪地方ニ頻々交通スル者並ニ遠洋漁業者ニ對シ豫防注射ヲ施行シタリ

(ホ) 狂犬病豫防ニ關スル件

本縣ニ於テハ大正十三年ヨリ昭和二年ニ至ル間ニ於テ累計九十七頭ノ發生ヲ見病毒又ニ市十郡ニ瀰蔓スルニ至リシカ昭和二年九月ニ至リ略終熄シタルモ未タ豫防警戒ヲ緩フスヘカサル實狀ニアルヲ以テ昭和三年ニ於テモ七月一日ヨリ同七日迄ノ七日間ヲ以テ豫防週間ト定メ畜犬整理不用犬買上野犬掃蕩並豫防思想ノ普及等ニ努メシニ別紙ノ成績ヲ收メタリ尙一面從前病毒ノ分布最モ濃厚ナリシ大分、別府兩市並ニ大分速見兩郡内所在ノ畜犬及其ノ他必要ト認メタル地方ノ畜犬二千四百八十七頭ニ對シ豫防注射ヲ行ヒタリ

第六 結核、トラホーム豫防ニ關スル件

結核「トラホーム」豫防ニ關シテハ縣下各警察署ニ通達シ以テ之カ取締ヲ嚴重ニシ特ニ接客業者ノ檢診ヲ勵行シ有病者ニ對シテハ夫々適當ノ處置ヲ施シ以テ之カ豫防ニ努メタリ

第七 經費 特ニ豫算ヲ計上セス

昭和三年七月一全國狂犬病豫防週間御績表 大分縣

種別	畜犬取締		犬ノ整理	不用犬買上頭數		野犬掃蕩頭數	野犬殘存見込頭數	回講																
	寄	犬		不用犬買上頭數	提供頭數			縣	市町村	學	其ノ他													
合計	901	322	7	1,806	9,212	6,689	1,277	585	601	441	506	204	240	1,391	133	166	299	486	456	942	534	432	68	
	數件反逆令縣留繫	數件反逆ノ他ノ其	數件關處	數件戒罰ハ又諭說	數頭總	ルス有ヲ票證リヨ前從	モルシタナヲ出届現新	出届モルス榮例キ積引	ノモルダ止廢ヲ榮例	牝	牡	牝	牡	計	牝	牡	計	テニ費縣	テニ費村町市	計	數頭込見存殘犬野	テニ校學	テニ他ノ其	

附記一、週間中ハ各警察署巡查部長以上ノ家畜防疫委員管内ヲ巡視シ各實施事項ノ督勵ヲナスト共ニ縣下ヲ五區ニ分チ夫々分擔ヲ定メ技師、警部警部補又ハ巡查部長ヲ派シ實施狀況ヲ視察督勵セシメタリ

二、週間中農林省ヨリ本多農林屬狀況視察ノ爲來縣縣下樞要地ニツキ實地視察セラレタリ

(43) 佐賀縣

一、コレラ豫防ニ關スル件

海外ニ於ケルコレラ流行ノ狀況ニ鑑ミ侵襲門戶ト認メラル、東松浦郡唐津港、杵島郡住ノ江港、佐賀郡諸富港、西松浦郡伊萬里港其ノ他ノ海上生活者及之ト密接ナル關係ヲ有スル者ニ對シコレラ豫防注射ヲ要スル爲メ九月四日之レニ要スル經費千四百圓ヲ追加豫算ニ計上シ縣參事會ノ可決ヲ經直チニ感作ヲクチンノ製造ニ着手シ二萬四千六百立方センチメートルノ豫防液ヲ完成シタルヲ以テ衛生技師技手及防疫醫一名防疫監更及巡查一名ヲ一班ト爲シ三班ヲ編成シテ各地ニ派遣シ豫定人員一萬六千人ニ對シ豫防注射ヲ完了シタル者一萬四百九十六名ナリ尙東松浦郡唐津港ニ入港セル船舶中八月ヨリ十月迄ノ期間上海方面ヨリ廻航セルモノ二艘同乗組員百十二名ニ對シコレラ菌檢索ヲ施行シタルニ何レモ陰性ナリ

一、腸チフス及バラチフス豫防ニ關スル件

腸チフス並バラチフスハ縣下殆ント全部ニ瀰蔓セルノ狀況ニアルヲ以テ五月二十九日各警察署長ニ命シ昭和二年一月以來發生セル患者並同家族同居者及其ノ附近住民ニ對シ病原體檢索ヲ施行スル爲メ檢索材料ヲ送付セシムル外檢病調査ヲ勵行セシメ苟モ疑ハシキ者ニ對シテハ檢査材料ヲ送付セシムル爲メ膽汁培養器、糞便採取器血液容器ヲ各警察署ニ配布シ開業醫師ヲシテ任意使用セシムルノ便ヲ計リタリ

次ニチフス豫防注射ニ關シテハ極力之レカ獎勵ニ努メ且ツ豫防注射ニ對スル一般民衆ノ恐怖心ヲ去ラシムル爲メ其ノ施行當時ニ於テ技術員ヲシテ簡明ナル講話ヲ爲サシメタルヲ以テ漸ク諒解セルモノ、如ク自發的豫防注射ヲ受ケントスルモノ増加セリ而シテ其ノ被注射人員ハ三萬七千三百八十一名ニシテ其ノ内第一第二回トモ注射ヲ受ケタルモノ三萬二千四百五名ナリ

一、痘瘡預防ニ關スル件

痘瘡預防ニ關シテハ警察署長會議ノ際又ハ別ニ通牒ヲ發シテ銳意警戒ニ努メ朝鮮支那方面ヨリ歸來セルモノ、健康狀態ニ注意シ患者ノ早期發見ニ努メ一面市町村長ヲ督勵シ種痘脫漏者並不善感者等ニ對シ種痘ノ勵行ヲ圖リ且ツ萬一患者發見ノ場合ニ備フル爲メ痘苗一千人分ヲ準備シ置キタリ

一、類豫防ニ關スル件

管下ニ於ケル癩患者ハ昭和三年六月末現在百八十五名ナルカ之等患者ニ對シテハ本人又ハ家人ニ對シ病原ト豫防ノ方法ヲ指示シ誘導啓發ニ努ムルト雖モ今尙舊慣ヲ脱セス相當ノ資力アルニ拘ラス家人ト雜居シ豫防ノ途ヲ講セス諸方ヲ浮浪徘徊シ病毒ヲ散蔓セシムルノ虞アルヲ以テ之レカ豫防取締ノ徹底ヲ期スル爲メ六月以降隨時檢索ヲ勵行シタルカ無資力者ニシテ療養ノ途ナキモノ三名發見之等ハ何レモ療養所ニ收容資力アルモノニ對シテハ隔離其ノ他療養ノ途ヲ講セシムル等御大禮警備ノ完璧ヲ期シタリ

一、精神病者保護ニ關スル件

現在ニ於ケル監置精神病者總數四十九名ニ對シテ常ニ充分ナル注意ヲ爲サシメツ、アリト雖モ尙一層嚴密ニスルノ必要アリト認メ衛生官吏並警察官吏ヲ派遣視察セシメ保護ノ萬全ヲ期シタリ

(44) 熊本縣

御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニ就テハ昭和三年三月二十八日附內務省發衛第二十八號依命通牒ニ準據シ、各警察署長、市町村長、各種團體ト協力以テ遺漏ナキヲ期シ六、七月ヲ第一期トシ小冊子ノ配布、活動寫眞會、講話會等ヲ開催シ趣旨ノ徹底ニ努メ八月以降終了迄ヲ第二、三期トシ之カ實行ニ入り特ニ衛生課長ヲ派遣シ八月二十四日ヨリ十一月七日ニ至ル間三十ヶ所ニ於テ講演ヲナサシメタルニ之カ聽講者一萬一千六百四名ナリ又一面課員、警察署長、市町村長指導督勵ノ任ニ當リ防疫ニ關シ

テハ警察署長、市町村長ヲ督勵シ時々縣衛生職員ヲ派遣シ防疫施設ノ徹底ヲ期シ豫防警戒ニ努メタル結果一月以降猖獗ヲ極メタル傳染病モ低減シ平常以上ノ成績ヲ舉ケ一般衛生、防疫衛生共ニ相當ノ成果ヲ收メ得タリ

(45) 宮崎縣

一、監置精神病者取締ニ關スル件ニ關シテハ特ニ昭和三年九月十一日附ヲ以テ管内各警察署長ニ對シ通牒ヲ發シ左ノ計劃ニヨリ視察取締ヲ勵行セリ

(イ) 時々監置室ノ構造設備病勢監護義務者ノ適否等ヲ視察シ逃走ノ虞レアルモノ其ノ他不適當ト認メラル、箇所ニ對シテハ速カニ夫々相當ノ處置ヲ講セシムルコト

(ロ) 以上ノ視察取締ハ少クトモ十月十日同二十日同三十日十一月十日同二十日一齊之ヲ行ヒ其ノ結果ハ五日以内ニ別記様式ニヨリ報告スルコト

未監置精神病者ニ對シテモ前項ニ準シ嚴重ニ視察取締ヲ勵行セリ

二、傳染病ニ關スル件ニ關シテハ客年三月二十八日附貴省發第二八號ニ基キ勵行シタルノ外縣醫師會並ニ衛生組合等ト連絡ヲトリ患者ノ早期發見豫防撲滅保菌者ノ檢査ニ努ム

三、清潔法ニ關スル件ニ關シテハ傳染病發生シ又ハ發生ノ虞アル地方ニ對シテハ臨時清潔法及消毒の清潔法勵行

四、爆發性藥物及劇毒物ニ關スル件ニ關シテハ藥品巡視員ヲシテ精密取締ヲ勵行ス

五、豫算 特ニ豫算ヲ計上セス

(46) 鹿兒島縣

御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日內務省發衛第二八號依命通牒ニ準據シ縣下各市町村長及警察署長ニ對シ之カ實施方ヲ通牒シ以テ衛生上遺憾ナキヲ期セリ之カ豫算千三百三十一圓ナリ
尙鹿兒島市ニ於テハ「ベスト」豫防上特ニ七月一日ヨリ十月末日迄鼠族ノ買上ヲナシ細菌學的検査ヲ施行シタリ其期間中鼠族ノ買上頭數五千六百九十頭ニシテ検査ヲナシタルモノ千七百七十四頭ナリシモ有菌鼠其他疑ハシキモノヲ發見セス之ニ要シタル費用貳百參拾貳圓五拾錢ナリ

(47) 沖繩縣

一、令達

(イ) 御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日內務省發衛第二八號ニ準據シ縣下各支廳長、警察署長及市町村長ニ對シ之カ實施方通牒
(ロ) 昭和三年八月廿八日「腸チフス」巴拉チフス」疑似症ニ對シ傳染病豫防法全部適用ノ旨縣令ヲ公布シ縣下各醫師會長宛通牒

二、施設事項

(イ) 縣下各警察署長ニ對シ檢病的戸口調査ヲ一齊ニ施行方示達シ傳染病ノ早期發見ニ努メ尙那霸市當局及那霸警察署ト縣衛生關係官吏協力シテ那霸市内各井戸ノ消毒ヲ施行シ尙縣衛生技術員並ニ縣郡市醫師會員ト協調シテ近畿地方旅行者其他接客業者ニ對シ種痘接種「腸チフス」巴拉チフス」豫防注射ヲ實行セシメ那霸市内各料理屋營業者及其家族ノ保菌者調査ヲ爲シ且ツ那霸港ニ於テハ阪神地方ヨリ來港スル船舶ニ對シ假檢疫ヲ七日間施行セリ
那霸市井戸消毒數三千六百六十八個

「腸チフス」巴拉チフス」豫防注射人員

第一回千八百三十五人

第二回千二百二十二

種痘接種人員 十四人

保菌者調査人員 六十八人

(ロ) 本縣ハ一般ニ飲料水ニ乏シク且ツ水質良好ナラサル爲メ保健衛生上飲料水ノ改善ハ緊要ナルニ付共用井戸ヲ衛生的ニ改善方ヲ促シタル結果簡易給水装置及共同井戸六個所ヲ新設改造シタリ

(ハ) 「マラリア」有病地ノ排水溝工事ヲ施行シ且ツ同地帯ノ清潔保持ニ努メ本病豫防ノ實ヲ擧ケタリ
其ノ他各般ノ施設ニ力メタリ

三、經費 特ニ豫算ヲ計上セス

一一、海港檢疫及重要海港地ノ防疫施設

御大禮ニ際シ傳染病ノ流行スルコトアラハ支障少ナカラサルヲ以テ内地ニ於ケル防疫施設ト相俟テ海外ヨリ侵襲ノ虞アル傳染病ニ對シ特ニ警戒ヲ嚴ニスル要アリ、昭和三年四月ニ於テ左記ノ通牒ヲ發シタリ

(一)

內務省發衛第三一號

昭和三年四月十二日

內務次官

横濱、大阪、神戸、長崎、門司各稅關長
三重、愛知、佐賀、鹿兒島各臨時海港檢疫所所在地知事宛

御大禮ニ關スル海港檢疫施設事項ノ件

今秋御舉行アラセラルヘキ御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘疹ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ別紙事項ニ準據シ實行方御配慮相煩度

御大禮海港檢疫施設要項(別紙事項)

第一、「ベスト」ニ關スル件

一、海外ヨリ來ル船舶殊ニ「ベスト」汚染港ヨリ來ルモノニ對シテハ海港檢疫ヲ嚴密施行シ鼠族ノ驅除竝ニ鼠族ノ細菌學的検査ヲ勵行スルト共ニ碇泊中ハ鼠族ノ上陸防止ニ付適當施設ヲ講スルコト

二、税關上屋倉庫等ニ對シテハ除鼠班等適當ノ機關ヲ設ケ除鼠ヲ勵行スルト共ニ其ノ建物ニハ防鼠設備ノ完備ニ努メ且鼠族ノ細菌學的検査ハ特ニ嚴重施行スルコト

第二、「コレラ」ニ關スル件

一、海外ニ於ケル「コレラ」發生狀況ニ從ヒ海港檢疫ノ施行ヲ一層嚴重ナラシムルコト

第三、痘疹ニ關スル件

一、海港檢疫ヲ嚴重ニ施行シ患者ヲ發見セルトキハ之カ消毒傳播ノ防止方法ヲ講スルコト

第四、外航船舶ニ關スル件

一、海外諸港ヲ往來スル船舶ニ對シテハ當省ヨリ通報スル海外諸港ニ於ケル傳染病情報ニ注意セシムルノ外新嘉坡東局國際傳染病情報ヲ利用セシムル等ノ方法ニ依リ豫メ海外諸港ノ傳染病狀況ヲ知悉シ之ニ寄港ノ際ハ傳染病豫防ニ付キ必要ノ方法ヲ講シ病毒ヲ輸入セサル様特ニ留意セシムルコト

(二)

內務省發衛第三一號

昭和三年四月十二日

內務次官

神奈川、大阪、兵庫、長崎、福岡

各稅關所在地、府縣長官宛

御大禮ニ關スル海港檢疫施設事項ノ件

今秋御舉行アラセラルヘキ御大禮ニ際シテ衛生上施設スヘキ諸般事項ニ關シテハ別途通牒致置候ヘ共就中海外ヨリ侵襲ノ虞アル傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘疹ノ豫防ニ對シテハ一層之カ完璧ヲ期シ度ニ付テハ別紙ノ通り各稅關長宛通牒致置候間之カ實行方ニ關シ一段ノ御配慮相煩度(寫及施設要項添付ノコト)

(三)

朝鮮、臺灣及關東州ニ對スル照會

御大禮衛生施設上ノ協力ニ關スル件

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘疹ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ貴管下ニ於ケル「ベスト」「コレラ」痘疹ニ關スル情報ハ特ニ御大禮關係傳染病情報トシテ一層迅速ニ之カ報告ヲ入手スルノ必要有之候條可然御配慮相煩度
追テ御大禮關係傳染病情報ハ週報トシ流行ノ兆アル場合ニハ不取敢電報ヲ以テ御通知相成度申添候

(四)

駐在防疫官ニ對スル通牒

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘疹ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ是等傳染病ノ發生流行狀況ニ關シテハ特ニ周到ナル注意ヲ以テ詳細調査ヲ遂ケ之ヲ委細週報ヲ以テ御報告相成度

(五)

外務省ニ對スル照會

御大禮ニ關スル衛生上ノ施設事項ノ件

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ペスト」「コレラ」痘疹ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ汕頭、厦門、福州、青島、秦皇島、天津、營口、ウラジオストック、マニラ、バンクーバ、シヤートル及桑港ニ於ケル「ペスト」「コレラ」痘疹ニ關スル情報ハ特ニ御大禮關係傳染病情報トシテ一層迅速ニ之ヲ入手スルノ必要有之候條直接當省へ報告スル様右關係地ノ領事館等ニ對シテ御示達方御高配相煩度

追テ御大禮關係傳染病情報ハ週報トシ流行ノ兆アルカ又ハ其ノ疑アル場合ハ不取敢電報ヲ以テ報告セラルル様併テ御配慮相成度申添候

御大禮關係傳染病情報ニ關スル件

外務省通商局長ヨリ照會(昭和三年四月十七日)

本件ニ關シ客月二十七日附衛第三〇號貴信ヲ以テ御申越ノ趣了承右ニ付テハ早速同信記載ノ各在外公館宛及訓令置タル處本件ニ付テハ更ニ廣東港並楊子江沿岸(蘇州、南京、蕪湖、九江、漢口、沙市、宜昌、長沙、杭州、重慶)所在ノ各公館へモ同様訓令ノ要有之ヤニモ思考セラルルニ付右ニ對スル貴見折返シ御回示相煩度シ

內務省衛生局長ヨリ回答(昭和三年四月二十五日)

本件ニ關シ本月十七日付普通第二九七號ヲ以テ御申越ノ趣了承御意見ノ通廣東港及楊子江沿岸各公館ニモ訓令方可然御取計相煩度

以上ノ内海港地ニ於ケル衛生施設ニシテ「ペスト」及「コレラ」ニ關シテハ特殊ノ督勵方法ヲ必要ト認メ、重要ナル海港地ニ對シ本省技術官ヲシテ擔任監督セシメ其ノ實績ヲ舉クルコトニ努メシムルコトトシ左ノ通牒ヲ發シタリ

內務省發衛第三四號

昭和三年三月二十八日

內務省衛生局長

- 大阪、神奈川、兵庫、長崎、
- 三重、愛知、福岡、山口、
- 各地方長官宛
- 大阪、横濱、神戸、長崎、門司、各税關長宛

海港地ニ於ケル「ペスト」及「コレラ」豫防ニ關スル件依命通牒

今秋御舉行ノ御大禮衛生施設事項中「ペスト」及「コレラ」ノ豫防上最モ緊切ト認メル施設實施方法別紙ノ通相定メ候ニ付テハ右ニ依リ實施方可然御盡力相煩度

海港地ニ於ケル「ペスト」及「コレラ」豫防ノ爲左記ニ依リ直ニ御大禮海港檢疫施設要項ノ實施ニ着手スルコト

一、關係海港地ヲ左記ノ三ニ分チ各擔任技術官ヲ定メ隨時出張指導監督スルコト

- 一、横濱、名古屋、四日市 (飯村防疫官)
- 二、大阪、神戸 (加藤防疫官)
- 三、門司、長崎 (勝俣防疫官)

一、府縣衛生當局ハ税關及市ト緊密ノ聯絡ヲ採リ海港地ニ於ケル倉庫等ノ除鼠施設並水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防注射ヲ一定計畫ノ下ニ實施スルコト

一、税關構内ノ除鼠施設ニ關スル中心機關トシテ税關ニ除鼠主任ノ設置ヲ求ムルコト

一、實施着手ニ先チ擔任技術官ハ一應海港地ノ實情ヲ視察シ府縣當局ヲシテ除鼠及「コレラ」豫防注射ノ實施計畫ヲ立シムルコト

一、擔任技術官ハ第一號ニ依リ其ノ擔任海港地ニ臨時出張スルハ勿論擔任以外ノ海港地ヲモ適宜視察シ彼是對照比較シテ實施上遺漏ナキヲ期スルコト

- 一、計畫ノ設定及其ノ實施ニ當リテハ隨時擔任技術官、府縣衛生當局、税關除鼠主任ノ打合會ヲ府縣廳等ニ開催スルコト
- 一、成績ハ一週毎ニ擔任技術官ヨリ報告スルコト

右ニ依リ各擔任防疫官ハ先ツ準備トシテ概要左記事項ヲ調査スルコトヲ打合セノ上夫レ々々各擔任ノ海港地ニ出張シ調査ヲ遂ケ、同時ニ當該府縣市、及税關等ノ當局ト實行上ノ細目ニ付協議シタリ

調査事項「ベスト」關係

- 一、海外入港船舶ノ數及繫船並荷揚狀況
- 二、近三年ニ於ケル輸入品目及輸入地方
- 三、船舶燻蒸ノ狀況
- 四、繫船岸壁ノ狀況
- 五、繫船時ニ於ケル防鼠施設
- 六、岸壁地帯ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況
- 七、岸壁地帯ニ沿ヒタル地ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況(前二號ノ建物ノ大小及所屬等圖面)
- 八、前二號ノ範圍ニ沿ヒタル一般狀況
- 九、税關方面ニ於ケル防鼠施設ノ現狀
- 一〇、府縣ノ關係地帯ニ於ケル防鼠施設(買收檢鏡等ノ狀況)
- 一一、税關及府縣ノ防鼠施設並鼠族驅除ニ關スル今後ノ方針意見

「コレラ」關係

- 一、警戒又ハ流行地ニ於ケル便器ノ貸與其ノ他糞便放流ニ對スル取締狀況
- 二、水上生活者及關係者ノ種類及人數
- 三、豫防注射施行ノ時期ニ關スル意見

四、税關ニ於ケル細菌檢査施設ノ狀況

以上ノ調査ヲ爲スト共ニ當該府縣當局ト協議シ大體ノ實施計劃ヲ定メ、尙之カ遂行ノ爲左記ノ如ク防疫職員ノ配置ヲ爲シタリ

府縣	防疫醫	防疫監吏
神奈川縣	一人	三人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	三人	五人
愛知縣	一人	三人
三重縣	一人	二人
大阪府	〇人	二七人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	五人	八人
兵庫縣	二人	二四人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	五人	一〇人
山口縣	一人	五人
福岡縣	一人	六人
長崎縣	一人	四人

更ニ各港市ニ於テ實施スヘキ大體ノ標準トシテ本省ニ於テ左記ノ事項ヲ決定シタリ

海港防疫施設概要

「ベスト」關係施設事項

一、棧橋岸壁ニ於ケル荷役時ノ防鼠施設

- (イ) 船舶(主トシテ外航船)ヨリ棧橋岸壁ニ連絡スル「ロール」ニハ「ラットガード」ヲ付セシメ、又ハ繫留鋼索具ニハ凡ソ三、四尺ノ間「タール」ヲ塗布セル布ヲ緊縛セシメ「タール」ハ乾燥ノ前ニ塗り加ヘシメルコト
- (ロ) 外航船ト棧橋岸壁ヲ連絡スル昇降用渡リ橋渡リ板ノ類ハ使用休止時ハ撤去セシメ、又ハ昇降用渡リ橋ニハ金屬製防鼠

扉ヲ有スルモノヲ使用セシメ、然ラサル場合ハ巾凡ソ三四尺ノ「タール」塗布ノ布ヲ置カシメ「タール」ノ乾カサル様注意スルコト

夜間ハ舢舨ノ防鼠扉又ハ「タール」布ノ部分ヲ強力ナル燈光ヲ以テ照射スルコト

(ハ) 夜間荷役ノ際ハ特ニ注意シテ強力ナル燈光照射ヲ爲スコト

(ニ) 以上イ、ロ、ハノ方法ハ印度諸港、爪哇、新嘉坡、香港ヨリ來航スル船舶ニ對シテ勵行スルモ今後海外諸港ノ「ベスト」發生狀況ニ應シ追加スルコト

二、倉庫防鼠設備

(イ) 倉庫防鼠設備施行ノ範圍ヲ左ノ如クスルコト

一、沿岸倉庫(外航船繫船岸壁ニ直接關係アル地域ニアルモノ)

二、準沿岸倉庫(前號以外ノ地域ニアリテ外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫)

三、一及二ノ倉庫ニシテ其ノ收納物カ穀類穀粉類豆粕有機性肥料其ノ他鼠ノ食料タリ得ル物件並綿花類ヲ收納スルモノ

上屋倉庫ニシテ全體ノ構造狀況等ヲ考慮シテ普通ノ防鼠設備ノ出來得テ相當ノ效果ヲ擧ケ得ル見込アルモノハ倉庫ニ

準シ之ヲ取扱フコト

(ロ) 前號(イ)ノ標準ニ依リ沿岸倉庫ヲ定ムルコト別表第一號ノ如シ

(ハ) 前號(イ)ノ標準ニ依リ準沿岸ヲ定ムルコト別表第二號ノ如シ

(ニ) 沿岸倉庫ニ對シテ概要左記ノ如ク爲サシムルコト

一、戸扉、窓、土臺廻リ其ノ他破損等ニ依リ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スルコト

二、内部地盤カ非防鼠材料ナルトキハ「コンクリート」漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルト

キハ、板張りナレハ腐朽部其ノ他荷モ鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、虞アル部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一尺前後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ、止ムナクハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

三、外壁カ非防鼠材料ナルトキハ地上凡ソ三尺、地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ、或ハ亞鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト、但シ内部地盤カ「コンクリート」「アスファルト」煉瓦等ニテ鼠ノ潛入不可能ナルモノハ地上部ノ亞鉛板張りノミニテ可ナリ

四、外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノノ外ハ鼠返シヲ設備セシムルコト

五、鼠返シハ成ルヘク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ、外ニ對シテ六〇度前後ノ角度ヲ保チ高サハ二尺以上トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスルコト

衝立式ハ裝置ノ際不注意ノ結果稍モスレハ兩側ニ隙空ヲ造リ易キ等ノコトアル故成ルヘク避ケタキコト

六、鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置クコト

七、夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈光ヲ以テ其ノ口ヲ照射スルコト

(ホ) 準沿岸倉庫ニ對シテハ前記沿岸倉庫ニ準シ出來得ル丈ケ之ヲ勵行セシムルモ止ムヲ得サルモノニ對シテハ一號丈ケトシテ特ニ次ノ除鼠施設ヲ勵行シテ之ニ代ラシムルコト

(ハ) 實行方法

一、沿岸倉庫ニ付テハ其ノ占有者所有者相會シ一々倉庫ニ對スル前記(ニ)ノ各號ノ實行具體的方法ヲ協議シ設備ニ關シテハ期間ヲ定メテ之カ實現ヲ期スルコト

二、準沿岸倉庫ニ對シテハ一面ニ於テ明治三十九年三月神奈川縣令第十四號ノ勵行ヲ通達スルト共ニ前記(ニ)各號ヲ刷物トシテ配付シ二及三號ハ成ルヘク之カ實行方ヲ勸奨シ其ノ他ノ各號ノ實行ヲ勵行スルコト

三、國有、縣有、市有等ノ倉庫ニ對シテハ各其ノ主管課ニ於テ具體的方法及費用概算等ヲ作製シ、内務省出張員等ト協力シテ夫々稟議協議等ヲナシ之カ實現ヲ期スルコト

四、實行ノ成績監視ハ稅關港務部員(稅關港内)及縣衛生課員ニ於テ豫テ協議又ハ通達シタル要項ニ對照シテ巡視ヲ爲シ其ノ成績ハ一週間毎ニ取纏メ毎火曜日內務省衛生局(何々防疫官)宛報告スルコト

三、防鼠施設

(イ) 沿岸地區(外航船ノ直接繫船又ハ之ニ準スル地帯ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第三號ノ通定ム
(ロ) 準沿岸地區(沿岸地區ニ隣接スル地帯及準沿岸倉庫所在地ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第四號ノ通定ム

(ハ) 沿岸地區及準沿岸地區内ニ於ケル倉庫及建物ヲ便宜上左ノ三階段ニ區別ス

A級、外壁床等カ石、煉瓦「コンクリート」等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ、鼠ノ棲息殆ントナク、且ツ戸扉ヲ閉チタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級、外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場合ハ鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠棲息シ且ツ處々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級、外壁及床非防鼠材料ニテ建物古ク、小修繕スルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツコト不可能ナル如キモノ

前各級ノ内鼠ノ食料タル物件又ハ綿花類ヲ收納セサル倉庫納屋等及人ノ住居ナキ等ニテ鼠ノ全ク棲息セサルモノハ之ヲ除外ス

(ニ) 沿岸及準沿岸地區ニ對シテハ殺鼠劑ノ配付及捕鼠器ノ引上ケ回数ヲ左ノ如クスルコト

殺鼠劑 捕鼠器

沿岸地區 月三回以上 月三回以上

殺鼠劑 捕鼠器

準沿岸地區 月二回以上 月二回以上

(ホ) 殺鼠劑ハ沿岸地區ニ對シ其ノC級ニハ殆ント各室(廣大ナルモノニ對シテハ大體住宅ノ間數ヲ標準トシ)B級ニハA級ノ倍容積ヲ標準トシ數ヶ宛ヲ配付スルコト

捕鼠器ハ大約前記殺鼠劑配付ノ半數位ノ場所ニ配置スルコト

準沿岸地區ニ對スル殺鼠劑捕鼠器ノ配置ハ沿岸地區ニ準シ多少密度ニ付考慮スルコト

(ヘ) 殺鼠劑捕鼠器ハ大約右ノ標準ナルモ鼠糞ノ數及其ノ新舊並鼠穴ノ多少其ノ他鼠棲息ノ多少ヲ推測參酌シテ取捨配置スルコト

(ト) 殺鼠劑ハ成ルヘク縣又ハ市ニテ製造無償交付シ或ハ直接ニ之ヲ配付スヘク處方ハ燐及亞砒酸ノ二種トシ其ノ各處方モ時々之ヲ變更スルコト。猫「イラズ」等ノ坊間販賣品ヲ使用セシムルモ可ナルコト

(チ) 捕鼠器ハ成ルヘク税關縣又ハ市ニアルモノヲ貸與シ或ハ自ラ配置引上ヲ爲スコト

(リ) 沿岸地區ノ護岸及之ニ接續スル場所ニテ破損其ノ他ニ依リ鼠ノ遁入潛行シ得ル狀況ノモノハ成ルヘク之ヲ修理填塞シ止ヲ得サルモノニ對シテハB級ニ準シ殺鼠劑捕鼠器ノ配置ヲナスコト

(ヌ) 沿岸地區ニ而シ又ハ常ニ往來スル船ヲ疑ニシテ鼠棲息ノ疑アルモノニ對シテハ沿岸地區ノB級ニ準シ殺鼠劑捕鼠器ノ配付ヲ爲スヘク且ツ成ルヘク縣直接ニ之ヲ行フコト。

(ル) 以上除鼠施設ノ實行ハ國、縣、市等ノ占有又ハ所有スルモノハ各々自ラ之ヲ行ヒ、倉庫業者及大會社、工場等ニハ各其ノ責任者ヲ會シテ協議實行セシメ其ノ他ニ對シテハ配付ハ主トシテ市ニ於テ之ヲ行ヒ巡視及監督ハ市及縣ニ於テ協同シテ之ヲ爲スコト

(オ) 以上各號ノ實施狀況ハ一週間毎ニ取纏メ(毎火曜日)縣ヨリ内務省衛生局(何々疫疫官)宛報告スルコト

「コレラ」關係施設事項

一、検査所ノ整備

(イ) 検査所ノ試験室ニ於テハ「コレラ」材料検査ニ必要ナル器具藥品及免疫血清類ヲ常ニ差支ナキ様準備スルコト

(ロ) 長濱検査所ノ整備ニ付時々検閲スルコト

(ハ) 貸與便器ノ整備ヲ計ルコト

二、港内汚染防止勵行

(イ) 近接海外地方ニ流行又ハ流行ノ虞アルトキハ其ノ地方ヨリ直接入港スル船船ニ對シ入港中便所封鎖ヲ命シ糞便検査開

始後ニ於テハ該検査全部終了迄便所封鎖ヲ命スルコト、之カ開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ定ムルコト
(ロ) 常時塵埃投棄等ニ對スル取締ヲ一層勵行スルコト

三、豫防注射ノ施行

(イ) 水上生活者(沖仲仕、沖行商、繋船船舶ニ出入スル仲仕ノ類ヲ含ム)ニ對スル「コレラ」豫防注射開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ之ヲ定ムルコト

(ロ) 注射ハ二回注射トシ(第一回二密瓦、第二回四密瓦)第一回注射ハ漏レナク施行スルコト

(ハ) 注射證明書ハ皆テ協定済ノモノヲ與フルコト

(ニ) 豫防注射施行ハ水上生活者中先ツ外國船關係者ヲ先ニシ、次テ沿岸漁業者其ノ他ニ及ホスヘキモ、場合ニヨリ率急ニ行ヒ易キ方面ヨリ行フモ差支ナキコト

(ホ) 豫防注射實施ハ醫一人防疫監吏一人警察官吏一人ヲ以テ一班トス

以上ノ準備調査トシテ各水上生活者ノ種類員數及注射施行豫定日割等ヲ作製シ置クコト

注射施行ノ時期及範圍等ハ内務省出張員ト協議シ之ヲ定ムルコト

以上全部ノ協議事項ハ左記ノ範圍ノ責任者相會合決定シ各々協力シテ之カ實行ヲ期ス

縣衛生課、税關港務部、水上警察署、市衛生課、内務省出張員、

以上ノ計劃ニ基キ實行ニ着手シ、本省各擔任技術官ハ時々當該地ニ出張シテ督勵ヲ爲シタルカ其ノ順序及成績ノ概要左ノ如

シ

神奈川縣(横濱港市)

昭和三年六月六日、神奈川縣廳ニ於テ打合セ會ヲ開キ、福田縣衛生課長、國友港務官、福武横濱税關會計課長、瀬川横濱市衛生課長及飯村防疫官等列席、實行ノ細目方法ヲ決定シタリ

横濱税關ニ於テハ左ノ規定ヲ設ケタリ

達第三號

臨時防疫部規定左ノ通り相定メ即日之ヲ實施ス

昭和三年六月十四日

横濱税關長 井 上 德 太 郎

第一條 御大禮ニ關スル防疫施設要項ニ基キ防鼠、捕鼠、細菌學的検査並ニ清潔法ヲ施行スル爲メ臨時防疫部ヲ置ク

第二條 臨時防疫部ニハ臨時防疫委員、執行係及庶務係ヲ置ク

第三條 防疫委員會ハ防疫計劃ヲ審議シ且ツ其執行ヲ監督ス

委員會ニ於テハ上席委員長ノ職ヲ行フ

第四條 執行係ハ防疫計劃ノ調査並ニ執行ヲ掌ル

庶務係ハ防疫ニ關スル經費、調度、營繕其他庶務ヲ掌ル

各係ニ係長ヲ置ク

第五條 執行係ニ專ラ細菌ノ検査ニ從事セシムル爲検査主任ヲ置ク

第六條 臨時防疫部ニ防疫員ヲ置ク

防疫員ハ各係ニ分屬シ防疫ノ事務ニ從事ス

第七條 防疫委員、係長、検査主任及防疫員ハ職員中ヨリ税關長之ヲ命ス

第八條 執行係長ハ必要ニ應シ委員會ノ議ヲ經テ雇員中ヨリ防疫手ヲ命シ又ハ傭人ヲ使役スルコトヲ得

防疫手ハ防疫員ノ指揮ヲ受ケ專ラ防疫ノ現場事務ニ從事ス

第九條 執行係長ハ防疫作業成績ヲ每週一回防疫委員ヲ經テ税關長ニ報告スヘシ

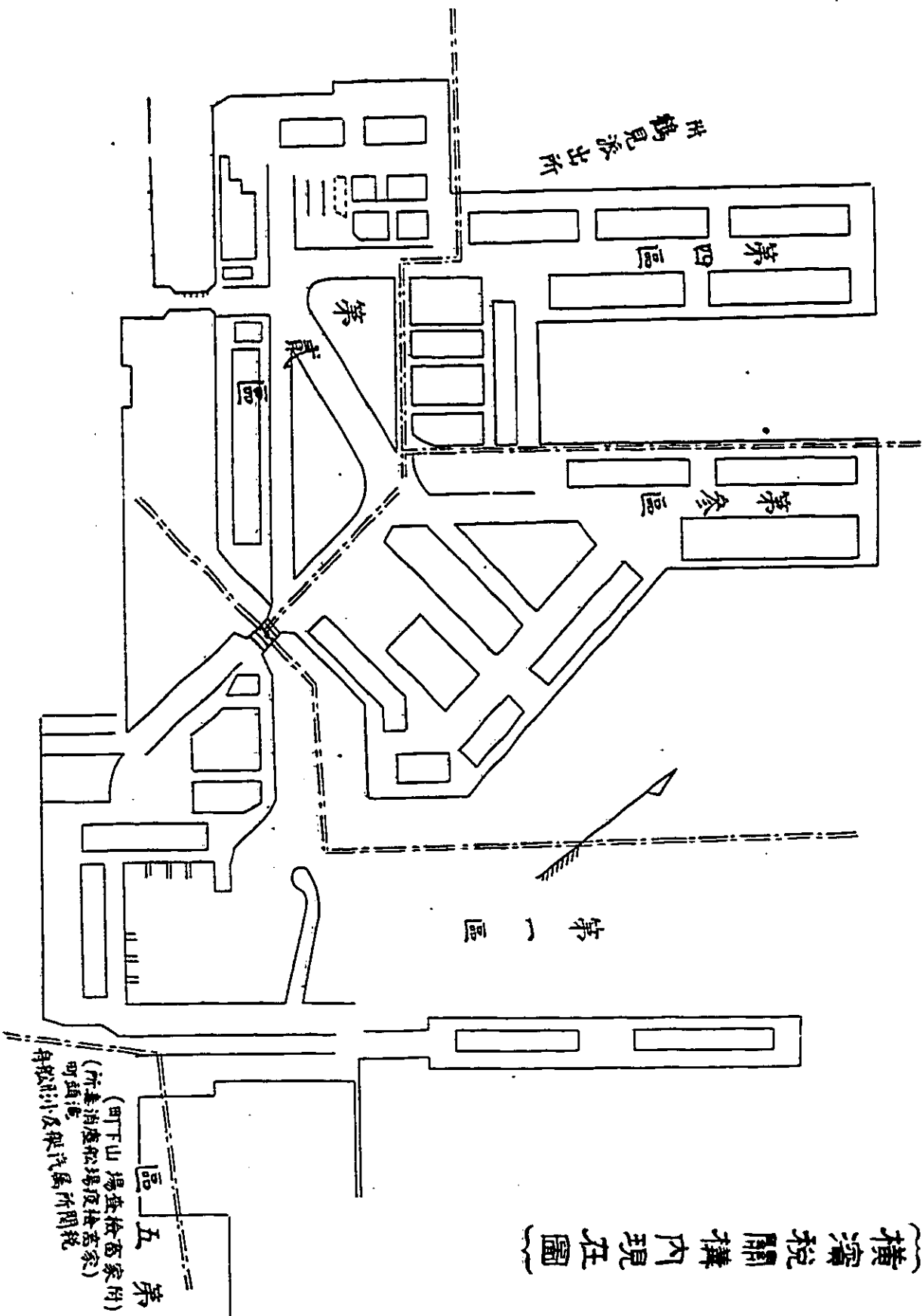
達第四號

横濱税關防疫規定左ノ通り相定メ即日之ヲ實施ス

昭和三年六月廿六日

横濱税關長 井 上 德 太 郎

- 第一條 「ベスト」及「コンラ」等ノ傳染病豫防上税關應舎、倉庫、上屋ノ内外ニ於ケル鼠族ノ驅除、細菌検査並清潔法ヲ勵行スル爲メ税關構内ヲ別圖ノ示ス如ク五區ニ分チ各區ニ防疫員、防疫手及傭人ヲ配屬シテ之カ實施ノ任ニ當ラシム
- 第二條 各區現業員(配屬防疫手及傭人ヲ謂フ以下之ニ依テ)ハ毎日午後五時迄ニ捕鼠器ニ餌ヲ附ケ整理シ置キ午後六時迄ニ各要所ニ配置シ翌朝未明ニ之ヲ取纏ムヘシ捕鼠ハ之ニ日付及捕獲場所等ヲ明記セル札ヲ付ケ検査主任ニ送付スヘシ
- 第三條 殺鼠劑配付ノ通告ヲ受ケタルトキハ各區監督員ハ現業員ヲシテ之ヲ受取ラシメ當日夕刻各要所ニ撒布セシムヘシ撒布シタル個數及場所ハ之ヲ記載シ置クヲ要ス翌日斃鼠ヲ搜索シ之ヲ發見シタルトキハ前條後段ノ如キ札ヲ付ケ之ニ斃鼠ナル旨ヲ添記シ検査主任ヘ送付スヘシ
- 第四條 捕鼠、斃鼠ノ取扱ハ鼠嵌子ニテ行ヒ直接手ヲ觸レサル様注意スルヲ要ス
- 第五條 現業員ハ毎日捕鼠、斃鼠ノ搜索ヲ終リタル後直ニ捕鼠器ヲ検査シ再ヒ使用ニ差支ナキ様整理スルヲ要ス、毀損又ハ紛失シタル場合ニハ直ニ庶務係ヘ申出テ代品ノ交付ヲ受クヘシ
- 第六條 現業員ハ除鼠ニ關スル現業ニ服セサルトキハ絶エス受持區内ヲ巡回シテ鼠ノ隠レ易キ場所ニ於ケル石塊、木片等ノ取片付ケ除草、塵埃蒐集、燒却場ヘ運搬等ニ從事シ常ニ區内ヲ清潔ニ保ツヘシ
- 第七條 各區監督員(配屬防疫員ヲ謂フ以下之ニ依テ)ハ配屬現業員ヲ監督シ時々巡回督勵スヘシ
- 第八條 各區監督員ハ其區内ニ在ル私設ノ倉庫、上屋、事務所、賣店等ノ除鼠及清潔方ノ執行ヲ監督シ捕鼠斃鼠ニハ第二條後段ノ札ヲ附シ之ヲ検査主任ニ送付スヘシ
- 第九條 各區監督員ハ日々ノ處理事項ヲ詳記スル外所定ノ用紙ニ捕鼠、斃鼠ノ數ヲ記入シ執行係長ニ報告スヘシ
- 第十條 棧橋、岸壁ニ繫留スル船舶ノ綱索及昇降用梯子ニハ「ラットガード」及防鼠扉ノ完全ニ施サレ居ルヤ否ヲ監督スル爲メ當該區受持防疫員ハ常に注意シテ巡視シ不完全ノモノアル時ハ直ニ完全ナルモノト取替ヘシメ破損セルモノハ直ニ修理ヲ命シ之ヲ執行係ニ報告スヘシ



第十一條 庶務係防疫員又ハ防疫手ハ各受命區域ヲ巡視シ防鼠工事ヲ必要ト認メタルトキハ其ノ場所及仕様概要ヲ係長ニ報告スヘシ

第十二條 便所其他不潔ノ箇所ハ時々消毒の清潔方法ヲ施行スヘシ

第十三條 「コレラ」流行ノ微アル時ハ税關員全部ノ豫防注射其他豫防方法ヲ講スヘシ

神奈川縣衛生課ニ於テハ六月十三日施行地域内ノ倉庫業者ヲ招集シ實行方法ニ付協議指示シ、又横濱市當局ト交渉ヲ重ネ殺鼠劑原料及人夫ハ市ヨリ提供シ、殺鼠劑ノ調製ハ縣衛生課ニ於テ之ニ任スル等ノ順序ヲ定メ、準沿岸倉庫二二〇棟ニ對シ實行ニ着手シ、横濱税關ニ於テハ沿岸倉庫四〇棟沿岸地區建物一三七棟ニ對シ實行ニ着手セリ。其ノ成績概要左ノ如シ

週別	期間	横濱市(縣施行)		横濱港(税關施行)		計	
		倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	自六月二十五日至二十四日	四一	一九三	〇	五〇	四一	二四三
第二週	同 三十一日	一一	一三六	〇	一一六	一一二	二五六
第三週	同 七月一日	一六	一三七	四	一二〇	二〇	二五七
第四週	同 七月七日	二四	一二七	九	六四	一三	一九一
第五週	同 七月十四日	二	一三一	〇	九	二	一四〇
第六週	同 七月二十一日	五	一二七	〇	〇	五	一三七
第七週	同 七月二十八日	七	一〇二	〇	九	七	一一一
第八週	同 八月四日	二	一〇八	〇	四三	二	一五一
第九週	同 八月十一日	〇	七二	〇	五〇	〇	一二二

週別	期間	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數
第十週	同 八月十八日	一	一〇二	〇	六一	一	一六三
第十一週	同 八月二十五日	一	九一	〇	四三	一	一三四
第十二週	同 九月一日	一	一二二	〇	二一	一	一四三
第十三週	同 九月八日	一	一〇九	〇	三七	一	一四六
第十四週	同 九月十五日	〇	六九	〇	三〇	〇	九九
第十五週	同 九月二十二日	〇	七三	〇	三四	〇	一〇七
第十六週	同 九月二十九日	一	八四	〇	六一	一	一四五
第十七週	同 十月六日	〇	六六	〇	三二	〇	九八
第十八週	同 十月十三日	〇	七四	〇	三九	〇	一一三
第十九週	同 十月二十日	〇	七六	〇	四六	〇	一二二
第二十週	同 十月二十七日	〇	七九	〇	二二	〇	一〇一
第二十一週	同 十一月三日	〇	五三	〇	二九	〇	八二
第二十二週	同 十一月十日	〇	六九	〇	一五	〇	八四
第二十三週	同 十一月十七日	〇	五七	〇	三〇	〇	八八
第二十四週	同 十一月二十四日	二	六〇	〇	四七	二	一〇七
計	同 十二月一日	九六	二二一七	一三	一〇一八	一〇九	三三三五

九月二十九日港務部ニ於テ英國船「グレナツプ」號ニ「コレラ」患者ヲ發見セルニ依リ必要ナル範圍ニ「コレラ」豫防注射ヲ施行シタルカ、十二月二日迄ニ左記人員之ヲ了シタリ

神奈川縣施行

横濱税關施行

船行商	水船夫	沖人夫	沿岸人夫	雇船人夫	其他	計	汽船水夫	稅關係員	計
一一五〇	五八〇	六〇六二	七七九	八三	一三六四三	二二二九七	一	二四六	二四七

愛知縣 (名古屋港市)

昭和三年六月十一日、愛知縣廳ニ於テ落合警察部長、村島衛生課長島原名古屋港市衛生部長、名古屋港務所員、名古屋水上警察署員、名古屋臨時海港檢疫所員及飯村防疫官列席會合シテ實施細目ヲ決定シ、更ニ名古屋水上警察署ニ關係倉庫業者ヲ招集シ實行方法等ヲ指示及協議ヲ爲シタリ
之レニ依リ施行シタル成績概要左ノ如シ

名古屋港市

週	間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	同	同	自六月二十四日	五八	—	第六週	同	同	同八月二十九日	三〇	二七三
第二週	同	同	七月一日	六五	二七三	第七週	同	同	同八月三十一日	二三四	二七一
第三週	同	同	七月七日	五二〇	四八〇	第八週	同	同	同九月一日	一一九	二二五
第四週	同	同	七月十四日	四三六	二二五	第九週	同	同	同九月八日	一一一	一六〇
第五週	同	同	七月二十一日	三四八	二二九	第十週	同	同	同九月十五日	八〇	一一六
第十一週	同	同	八月八日	—	—	計				二〇一〇	三八六二
第十二週	同	同	八月十五日	〇	一五八					〇	七九
第十三週	同	同	八月二十二日	〇	一四四					〇	一二五
第十四週	同	同	八月二十九日	〇	一四五					〇	八四
第十五週	同	同	九月五日	〇	一八九					〇	一一三
第十六週	同	同	九月十二日	〇	一五六					〇	五八
第十七週	同	同	九月十九日	〇	一二九					〇	—

三重縣 (四日市港市)

昭和三年六月九日、三重縣廳ニ於テ縣當局及飯村防疫官ニ於テ實施細目ヲ定メ、翌十日四日市警察署ニ四日市市當局者及關係倉庫業者等ヲ招集シ實行方法ニ付指示及協議ヲ爲シタリ
之ニ依リ施行シタル成績概要左シ如シ

四日市港市

週	間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	同	同	七月七日	三	—	第二週	同	同	同八月十四日	三七	—

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第三週	同同	二十五日	七一		第十四週	同同	十月三十日	〇	一五二
第四週	同同	二十二日	二六		第十五週	同同	十月三日	九	一五八
第五週	同同	十八日	五一	三〇	第十六週	同同	十月十四日	〇	一四八
第六週	同同	十一日	五一	二二四	第十七週	同同	十一月七日	〇	一五四
第七週	同同	四日	一六	一七七	第十八週	同同	十一月十七日	一	九九
第八週	同同	廿九日	一一	一〇一	第十九週	同同	十一月二十八日	〇	一一一
第九週	同同	廿二日	一三	六六	第二十週	同同	十二月十一日	〇	八六
第十週	同同	十五日	二九	二三六	第二十一週	同同	十二月十八日	〇	一二五
第十一週	同同	八日	〇	一六五	第二十二週	同同	十二月二十五日	〇	一二三
第十二週	同同	一日	九	一五四	計			三二七	三四四
第十三週	同同	廿四日	〇	九五					

警視廳管内

海外ヨリ横濱港ニ來ル船貨ノ約六〇%ハ沖荷役ニ依リ傳馬船等ヲ以テ東京ニ搬入セラルルヲ以テ、之等ノ貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫ニ對シテハ豫防施設ノ必要ヲ認メ、警戒地區百三十三棟ニ對シ大體他港市ニ於ケル準沿岸地區ノ倉庫ニ對スル方法ニ準シテ防鼠施設ヲ爲シタリ。其ノ成績概要左ノ如シ

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	至日	七月七日	一九	一四二
第二週	同同	十八日	六〇	七五六

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第三週	同同	二十五日	二二	五二一	第十四週	同同	十月三十日	一四	二六五
第四週	同同	二十二日	四一	四〇四	第十五週	同同	十月三日	二〇	三五三
第五週	同同	十八日	三〇	七三八	第十六週	同同	十月十四日	二二	四七四
第六週	同同	十一日	四八	四九〇	第十七週	同同	十一月七日	六	二二一
第七週	同同	四日	三六	五〇八	第十八週	同同	十一月十七日	二	二四三
第八週	同同	廿九日	二六	三三五	第十九週	同同	十一月二十八日	二	二二三
第九週	同同	廿二日	一九	三三三	第二十週	同同	十二月十一日	一	二八三
第十週	同同	十五日	一九	二六三	第二十一週	同同	十二月十八日	七	三〇〇
第十一週	同同	八日	二五	六三八	第二十二週	同同	十二月二十五日	三	一九七
第十二週	同同	一日	一八	五四三	計			四七三	八六二五
第十三週	同同	廿四日	三三	三七五					

長崎縣 (長崎港)

昭和三年五月二十七日長崎縣廳ニ於テ三島警察部長、鴛淵衛生課長、山路税關港務官、岩永長崎市衛生課長、三警察署長及勝俣防疫官等會シ防鼠地域ノ決定防鼠除鼠實施細目及コレヲ豫防注射實施計劃ニ就キ打合ヲ爲セリ或十八日市内倉庫業者ヲ招集シ除鼠防鼠實行方法ヲ指示及協議ヲ爲セリ
之ニ依リ施行シタル除鼠防鼠成績概要左ノ如シ防鼠地域内ノ倉庫數ハ七十一民家數ハ四百四十四ナリ

週	週間	倉庫改修件數	除鼠總數	週	週間	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	至白 六月九日	二六一	三五	第十四週	至白 九月十五日	〇	一七八
第二週	至白 六月十六日	〇	七八	第十五週	至白 九月廿二日	一三	一二七
第三週	至白 六月廿三日	〇	二二	第十六週	至白 九月廿九日	〇	一六六
第四週	至白 七月一日	四〇	四〇	第十七週	至白 十月六日	四	一二七
第五週	至白 七月八日	〇	二一	第十八週	至白 十月十三日	一	一〇八
第六週	至白 七月十五日	〇	一五	第十九週	至白 十月廿四日	〇	一三三
第七週	至白 七月廿二日	二	四〇	第二十週	至白 十月三十一日	一	一二二
第八週	至白 七月廿九日	四〇	三〇	第二十一週	至白 十一月七日	〇	一七二
第九週	至白 八月五日	一	四八	第二十二週	至白 十一月十四日	〇	一一五
第十週	至白 八月十二日	〇	三五	第二十三週	至白 十一月廿一日	〇	一〇一
第十一週	至白 八月十九日	〇	四〇	第二十四週	至白 十一月廿八日	〇	六四
第十二週	至白 八月廿六日	四	一二八	計		三〇四	二、一九二
第十三週	至白 九月二日	〇	一五七				

長崎市ニ於ケルコレラ豫防注射八月十三日ヨリ開始セリ尙長崎市ハ上海トノ交通關係水上生活者及其家族ノミニ限ラズ陸上生活者ニシテ飲食物業者及其ノ家族ニモ之ヲ及セリ其ノ成績概要左ノ如シ

週	週間	期	間	第一回	第二回	計
第一週	至白	八月十八日	一、五五七	二二	一、五八〇	
第二週	至白	八月廿五日	一、五三九	六九四	二、二三三	
第三週	至白	九月一日	二六、四二二	七、六四二	三四、〇六四	
第四週	至白	九月八日	二九、三八六	一一、六五三	四二、〇三九	
第五週	至白	九月十五日	五五、五三二	二八、二六四	八三、七九六	
第六週	至白	九月廿二日	二七、五七一	四九、一四一	七六、七一二	
第七週	至白	九月廿九日	一四、三三三	二四、三四六	三八、六五九	
第八週	至白	十月六日	一、八八四	三、七三一	五、六一五	
第九週	至白	十月十三日	三、四三一	三、九一六	七、三四七	
第十週	至白	十月廿七日	一、〇二一	二、四四二	三、四六三	
第十一週	至白	十一月十日	九一五	二、一八〇	三、〇九五	
第十二週	至白	十一月廿三日	七二	八二六	八九八	
計						二九八、六〇三

長崎税關ニ於テハ左記規定ヲ設ケ六月十日ヨリ除鼠ヲ行ヒ十一月末日迄ニ十一頭ヲ得タリ又税關ニ於テ倉庫修理件數ハ八ナリ
税關職員ハ八月十四日八月二十一日兩日ニコレラ豫防注射ヲ行ヒ延人員三百二十三ナリ

長崎税關臨時除鼠班規程

第一條 御大禮ニ關スル衛生施設要項ニ基キ税關所屬ノ倉庫、上屋其ノ他税關構内ニ關スル防鼠、及鼠族驅除施行並出島保税

地域ニ於ケル除鼠監督ノ爲本關ニ臨時除鼠班ヲ置ク

第二條 除鼠班ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、港務部檢疫課職員

一、會計課職員

一、梅香崎事務所職員

第三條 除鼠班ニ主任ヲ置キ港務官ヲ以テ之ヲ充ツ

第四條 除鼠主任ハ除鼠班ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

第五條 港務部檢疫課職員及梅香崎事務所職員ハ除鼠主任ノ命ヲ承ケ鼠族ノ驅除並細菌検査ニ従事ス

會計課長ハ經費ニ關スル一切ノ事務ヲ擔當ス

會計課職員ハ除鼠主任及會計課長ノ命ヲ承ケ防鼠設備並鼠族驅除ニ必要ナル器具器械及材料ノ購入、配給ニ従事ス

第六條 除鼠主任ハ一週日毎ニ除鼠成績ヲ税關長ニ報告スヘシ

福 岡 縣 (門司市)

昭和三年五月三十一日門司税關ニ於テ縣、市、税關當局及勝俣防疫官等會合シ防鼠地域ノ決定、防鼠除鼠實施細目及コレヲ豫
防注射計画等ヲ打合セ協議ヲ爲シ六月一日門司警察署ニ市内倉庫業者ヲ招集シ除鼠防鼠實行方法ヲ指示セリ
是ニ依リ施行シタル門司市除鼠防鼠成績ハ左ノ如シ
防鼠地域内ノ倉庫數ハ三十五棟ニシテ民家ハ貳百九十六戸ナリ

門 司 港

週 間	期 間	倉庫改修件數	除鼠總數	週 間	期 間	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	至白 六月十日	二	二	第十四週	至白 九月十九日	二七	四八六
第二週	至白 六月十七日	二〇	二〇	第十五週	至白 九月廿六日	一一	六六三
第三週	至白 六月廿四日	〇	三四一	第十六週	至白 九月廿三日	三	五三二
第四週	至白 七月一日	五	七二〇	第十七週	至白 九月三十日	一七	六一四
第五週	至白 七月八日	二	六二一	第十八週	至白 十月七 日	二九	四八六
第六週	至白 七月十五日	六八	五四二	第十九週	至白 十月十四 日	二〇	八七九
第七週	至白 七月廿二日	一四	六一〇	第二十週	至白 十月廿一日	九四	一〇九二
第八週	至白 七月廿九日	七	四六五	第二十一週	至白 十月廿八 日	〇	八三四
第九週	至白 八月五日	〇	四七七	第二十二週	至白 十一月四 日	〇	五五八
第十週	至白 八月十二日	〇	三〇七	第二十三週	至白 十一月十一 日	〇	四二六
第十一週	至白 八月十九日	〇	四三一	第二十四週	至白 十一月十八 日	〇	六七五
第十二週	至白 八月廿六日	〇	三七七	第二十五週	至白 十一月廿五 日	〇	六九九
第十三週	至白 九月二 日	一〇	三八〇	計	至白 十二月廿五 日	三五八	一三、二〇五

門司税關ニ於テハ左記規程ヲ作リ七月一日ヨリ除鼠ヲ開始シ其ノ成績概要左ノ如シ

週 間	期 間	除鼠總數	週 間	期 間	除鼠總數
第一週	至白 七月 七日	七一	第十三週	至白 九月 廿三日	二四
第二週	至白 七月 十四日	六九	第十四週	至白 九月 卅日	四三
第三週	至白 七月 二十一日	五七	第十五週	至白 十月 七日	二六
第四週	至白 七月 廿八日	五五	第十六週	至白 十月 十四日	二四
第五週	至白 七月 卅五日	五三	第十七週	至白 十月 廿一日	三二
第六週	至白 八月 一日	六五	第十八週	至白 十月 廿八日	二七
第七週	至白 八月 八日	二六	第十九週	至白 十一月 四日	二四
第八週	至白 八月 十五日	四一	第二十週	至白 十一月 十一日	二九
第九週	至白 八月 廿二日	三二	第二十一週	至白 十一月 十八日	二二
第十週	至白 八月 廿九日	二一	第二十二週	至白 十一月 廿五日	二九
第十一週	至白 九月 五日	二四	計		八三七
第十二週	至白 九月 十二日	四三			

稅關倉庫數ハ二棟ニシテ建坪三、〇一一坪アリ殆ント凡テ修理セラレタリ

門司稅關臨時除鼠班規程

第一條 御大禮ニ關スル衛生施設ノ要項ニ基キ門司及下關ニ於ケル稅關上屋、倉庫、小蒸汽船其ノ他ニ對スル防鼠、捕鼠並殺鼠施行ノ目的ヲ以テ本關ニ臨時除鼠班ヲ置ク

第二條 除鼠班ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織シ事務從事者トシテ臨時雇傭員若干名ヲ配屬セシム

港務官、醫官、會計課長、營繕係長、用度係長、監視係長、貨物係長、第一、第二派出所各主務、藥劑手、消毒所勤務検査員下關驛兩出張所長

第三條 除鼠班ニ主任ヲ置キ港務部長ニアラサル港務官ヲ以テ之ニ充ツ

主任ハ除鼠班ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス

第四條 醫官ハ主任ヲ扶ケテ一切ノ事務ニ干與シ細菌検査及殺鼠劑調製ノ監督其他技術ニ關スル事務ヲ擔當シ主任事故アルト

キハ其ノ事務ヲ代理ス

會計課長ハ經費ニ關スル一切ノ事務ヲ擔當ス

營繕係長ハ除鼠設備工事ニ關スル事務ヲ擔當ス

用度係長ハ器械器具及材料ノ購入配給ヲ掌リ本關廳内ノ除鼠現業ニ關與ス

監視係長、貨物係長、第一、第二派出所各主務及下關、下關驛兩出張所長ハ自己所管ノ上屋、倉庫、小蒸汽船其ノ他ニ於ケ

ル除鼠ノ現業ニ關與ス

藥劑手及検査員ハ臨時雇及臨時人夫ヲ指揮シテ專ラ除鼠地域ノ除鼠現業ニ從事シ又殺鼠劑ノ調製、捕鼠器、餌食物ノ選定等ヲ擔當ス主任ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ庶務係ヲ置クコトヲ得

庶務係員ハ港務部庶務係長ヲ以テ充ツ

第五條 班員ハ常ニ除鼠方法ノ實施ニ就テ研究ヲ怠ラス以テ其ノ目的ノ遂行ニ努メ日々ノ作業狀況成績ヲ記錄保存スヘシ

第六條 主任及醫官ハ隨時現場ヲ巡回視察シ一週日毎ニ其ノ成績ヲ稅關長ニ報告スヘシ

第七條 除鼠施行ノ結果タル屍體又ハ除鼠地域及其ノ附近ニ於テ發見シタル斃鼠ハ直ニ之ヲ細菌室ニ送り検査ヲ遂クヘシ

第八條 有菌鼠ヲ發見シタル場合ハ直ニ稅關長ニ報告シ内務省其ノ他關係ノ箇所ニ速報シテ更ニ適當ノ處置ヲ講スヘシ

コレヲ豫防ニ關シテハ若松港ハ門司港ト特ニ密接ナル關係アルヲ以テ門司港ト同時ニ八月十二日ヨリコレヲ豫防注射ヲ開始セ

